

松下美術館 概要

松下美術館は隣接する福山病院の初代院長 松下兼知が昭和 58 年に開館しました。

松下兼知は幼少より絵を描くのを好み画家になりたいと思っていましたが、長崎医大に進学し医師となりました。それでも絵画への思いを断ち切れず長崎医大に在学中上京し、児島善三郎という画家の指導を受けたこともあります。長崎医大の助教授だった兼知は長崎にて被爆します。鉄柱の下敷きになりましたが奇跡的に助かりました。しかし原爆症に苦しむことになり、3年後に長崎医大を退職し福山町で療養、精神病院を開院しました。長崎医大のころから絵画の収集を始め、医師の研修などで海外を訪れた時には海外の風景をスケッチしたりしていましたが、ヨーロッパではどんな小さな田舎町でも教会には宗教画が掛けてあり、また小さな美術館があることに気付き、「ヨーロッパでは子供達の身近に本物の作品がある。そしてそれらの絵を見て育った子供達の中からまた有名な画家が生まれる。福山にも本物の絵を飾り子供たちが文化に触れる場所を作りたい、人々の心を潤し地域貢献をしたい」と願ってこの美術館を開設しました。

1号館

■1号館 (受付) 常設展示

1F: 鹿児島県にゆかりのある作家の作品を展示しております。

2F: 19-20 世紀にかけてフランスで活躍した作家の作品を中心に展示しております。

主な作家：黒田清輝/和田英作/東郷青児/海老原喜之助/コロール/ルノワール/ピカソ 他



2号館

■2号館 企画展示

建物は核シェルター式となっており、絵画の企画展示館として収蔵品の中からテーマにより作品を展示しております。

これまでの企画展

- ・錦絵に描かれた西郷隆盛
- ・伊牟田経正遺作展



3号館

■3号館 中近東資料館

エジプトやギリシャ地方の出土品を展示しております。ミイラを包んでいたマミーマスクは全身像として残るものとしては大変珍しく貴重なものです。



4号館

■4号館 日本画・掛軸

当館所蔵の掛軸や屏風を展示しております。



5号館

■5号館 民俗資料館

南九州は面が濃厚に残存する地域であり、その南九州を中心に収蔵した面の約 300 点の中から半周を信仰面・芸能面に分けて展示しております。



6号館

■6号館 貸ギャラリー

通常は初代館長 松下兼知の遺作展と薩摩焼を展示しております。ご希望の方には個展会場として利用していただくこともできます。



■ご利用案内

月曜休館（月曜祝日の場合は翌平日が休館となります）、 12/31・1/1 休館

会館時間 10:00~17:00（最終入館 16:30 まで）

	一般	大・高生	小・中学生
個人のお客様	500 円	300 円	200 円
団体のお客様（20 名以上）	300 円	200 円	100 円
身体の不自由なお客様	300 円	200 円	100 円

※幼児無料、上記金額にて全館ご覧いただけます。